

首都大学東京	情報リテラシー実践Ⅰ	科目種別	都市教養科目 (必修)	単位数	2	クラス指定科目
(東京都立大学等)	情報処理 A	科目種別	(選択)	単位数	2	指定科目
担当教員	時間割参照	前期	月～金曜日	2・3・5時限		
①授業方針・テーマ	①ICT(Information and Communication Technology)の使い方に習熟すると共に、それを活用し具体的な課題解決を行う。					
②習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	②情報の収集、分析、判断、編集、発信、共有などの情報処理に関わる能力の向上。情報機器の使い方と、それによる具体的な課題解決能力の向上。					
③授業計画・内容	③ 【基本】(4回程度) 1. 情報倫理講習, ログオン, 授業ガイダンス, 教育システムの紹介, レディネス調査 2. ファイル・フォルダの管理, 電子メール送受信 3. コンピュータやネットワークの仕組み, 情報検索 (WWW, 図書館情報など) 4. 情報倫理 【標準】(4回～6回程度) 5. ワードプロセッサによる文書編集1 6. ワードプロセッサによる文書編集2 7. 表計算ソフトによるデータ処理1 8. 表計算ソフトによるデータ処理2 9. 表計算ソフトによるデータ処理3 10. 課題作成等 【発展】(4回～5回程度) 11. プレゼンテーション or 簡単なプログラミング 12. プレゼンテーション or 簡単なプログラミング 13. 動画編集1 or HTML1 14. 動画編集2 or HTML2 15. 課題作成やまとめ 【標準】及び【発展】部分の学習内容は、各学部学系により異なる場合がある。					
④テキスト・参考書等	④eラーニングシステム上に標準コースウェアを設置する。クラスによっては別に指示する場合がある。					
⑤成績評価方法	⑤以下の観点に基づき総合的に判定する(担当教員により若干異なることがある) ・授業への出席(四回以上の欠席は原則として不合格とする) ・最初の基本部分の課題、及び標準部分の課題、発展部分の課題や発表の評価 ・情リテ情報倫理テストの結果					
⑥特記事項	⑥初回の授業の「情報倫理講習」を受講しない場合は、その後の授業を原則として受講できなくなるので注意する事。関連する授業として後期に、データ処理を扱う情報リテラシー実践ⅡA、プログラミングを扱う情報リテラシー実践ⅡB、また、画像と音を扱う情報リテラシー実践ⅡCを提供している。					